

令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の 諸課題に関する調査の結果について

本調査は児童生徒の問題行動等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における児童生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、本調査を通じて実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていくものです。この度、本調査の全国・県の結果が公表されたことを受け、本市の調査結果について報告します。

1 調査の概要

- (1) 調査内容
・暴力行為の状況 ・いじめの状況等 ・長期欠席の状況等
- (2) 実施時期 2022年4月
- (3) 調査対象 全市立小・中学校児童生徒

	校種	対象学校数	対象人数
全国 (国公立)	小学校	19,487校	6,262,256人
	中学校	10,283校	3,266,896人
神奈川県	小学校	854校	440,376人
	中学校	412校	202,403人
藤沢市	小学校	35校	23,135人
	中学校	19校	10,779人

- (4) 調査・回収方法
各学校で回答し、記入後、市教育委員会が回収し神奈川県教育委員会に提出する。その後、各都道府県教育委員会等から提出された調査票に基づいて、文部科学省が集計する。

2 藤沢市の状況

◇ 暴力行為の状況（R1～R3）

【暴力の定義】

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」をいう。

	校種	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	小	11	101	12	58	10	30
	中	2	62	3	76	4	6
生徒間暴力	小	21	319	21	175	26	281
	中	15	92	12	49	11	68
対人暴力	小	0	0	1	1	0	0
	中	0	0	1	1	0	0
器物損壊	小	10	28	10	22	13	23
	中	8	18	4	13	5	16
合計件数	小	448件		256件		334件	
	中	172件		139件		90件	
	合計	620件		395件		424件	

◇ いじめの状況（R1～3）

【いじめの定義】

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であって、当該行為の対象となった当該児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」（いじめ防止対策推進法）とする。

○いじめの現在の状況（各年度の3月31日現在での状況）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
認知件数	小学校	677	642	883
	中学校	131	123	147
	合計	808	765	1030
解消	小学校	628	588	762
	中学校	117	114	125
	合計	745	702	887
取組中	小学校	48	54	121
	中学校	14	9	22
	合計	62	63	143
転学等	小学校	1	0	0
	中学校	0	0	0
	合計	1	0	0

○学校で把握したいじめの態様別件数（複数回答）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
冷やかし・からかい 悪口・脅し文句	小	388	289	467
	中	84	51	89
仲間はずれ 集団による無視	小	106	126	159
	中	26	10	20
軽い暴力	小	123	111	130
	中	18	12	16
ひどい暴力	小	32	21	56
	中	4	7	3
金品をたかる	小	7	6	14
	中	0	2	7
金品を隠す・盗む 壊す・捨てる	小	58	59	72
	中	1	2	3
いやなことをされる いやなことをさせられる	小	22	54	48
	中	6	8	4
パソコンや携帯電話 による誹謗中傷	小	13	25	36
	中	26	23	19

◇ 不登校児童生徒の状況（R1～R3）

【不登校の定義】

「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者の数。

《小学校》

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1年生	18	12	19
2年生	20	34	38
3年生	21	37	53
4年生	34	36	55
5年生	55	59	65
6年生	53	74	96

《中学校》

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1年生	129	117	146
2年生	181	178	185
3年生	185	209	213

《合計》

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学校	201	252	326
中学校	495	504	544
合計	696	756	870

※本調査は、年度間に30日以上欠席した児童生徒についての調査であり、長期欠席者で、「不登校」に該当する児童生徒の人数を示している。

なお、そのほかの長期欠席者として、「病気」「経済的理由」「新型コロナウイルスの感染回避（出席停止扱い）」「その他」があり、「不登校」には含まれない。

※「不登校」の具体例

- ・ 友人関係又は教職員との関係に課題を抱えているため登校しない（できない）。
- ・ 無気力でなんとなく登校しない。迎えに行ったり強く催促したりすると登校するが長続きしない。
- ・ 登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない。漠然とした不安を訴え登校しないなど、不安を理由に登校しない（できない）。

《不登校の要因》（R1～R3）

※長期欠席者で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
学校に係る状況	いじめ	小	0	2	0
		中	0	0	0
	いじめを除く 友人関係の問題	小	22	27	15
		中	75	45	33
	教職員との関係	小	10	3	9
		中	5	1	5
	学業の不振	小	6	6	15
		中	41	35	18
	進路に係る不安	小	2	1	0
		中	3	7	2
	クラブ活動・部活動への 不適応	小	0	0	0
		中	5	8	2
学校の決まり等をめぐる 問題	小	0	2	5	
	中	0	3	0	
入学・転入・進級時の 不適応	小	3	7	1	
	中	6	12	9	
家庭に係る状況	家庭の生活環境の 急激な変化	小	8	10	11
		中	14	13	9
	親子の関わり方	小	32	51	43
		中	32	15	21
	家庭内の不和	小	4	7	8
		中	12	19	12
本人に係る状況	生活リズムの 乱れ、あそび、非行	小	26	24	31
		中	38	46	58
	無気力、不安	小	64	89	159
		中	228	217	275
	上記に該当なし	小	24	23	29
		中	36	83	100

3 全国・神奈川県の場合 (R3)

◇ 暴力行為の状況 (対教師・生徒間・対人・器物損壊の総数)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	334 (前年比 78 ↓)	6,224 (前年比 170 ↑)	48,138 (前年比 7,082 ↑)
中学校	90 (前年比 49 ↓)	1,953 (前年比 239 ↑)	24,450 (前年比 3,157 ↑)

児童生徒1,000人あたりの発生件数

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	14.4 件	14.1 件	7.7 件
中学校	8.3 件	9.6 件	7.5 件

◇ いじめの状況 (認知件数)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	883 (前年比 241 ↑)	25,770 (前年比 6,483 ↑)	500,562 (前年比 79,665 ↑)
中学校	147 (前年比 24 ↑)	4,820 (前年比 1,201 ↑)	97,937 (前年比 17,060 ↑)

児童生徒1,000人あたりの認知件数

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	38.2 件	58.5 件	79.9 件
中学校	13.6 件	23.8 件	30.0 件

◇ 不登校の状況

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	326 (前年比 74 ↑)	6,267 (前年比 1,141 ↑)	81,498 (前年比 18,148 ↑)
中学校	544 (前年比 40 ↑)	10,389 (前年比 1,248 ↑)	163,442 (前年比 30,665 ↑)

児童生徒1,000人あたりの発生人数

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	14.1 人	14.2 人	13.0 人
中学校	50.5 人	51.3 人	50.0 人